



SSKS 療育ねっとわーく川崎

2022年1月20日発行
No.248 (2800部)
NPO 法人
療育ねっとわーく川崎
発行者 江川 文誠
編集者 谷 みどり



Q 障がい児の相談支援体制が改編されたら聞きまし。そもそも、障がいのある子どもの支援や利用できるサービスについて良く知りませ。A 障がい児の支援体制や利用できる制度について、知る機会もあまりない方も少なくないかもしれませ。お子さんの年齢によって、また、障がいの特性や家族の状況によって困っていることや必要とする支援は違ってくる。さまざまな制度がある中で、適切な情報を入手してサービスを利用することは簡単ではありません。

川崎市では、「毎年「ふれあい」という障害福祉に関する制度が掲載されている冊子を作成・配布しています。(川崎市のHPでも公開されています)この「ふれあい」は、障害者の支援制度についても掲載されています。膨大な情報量の中から、子どもとその家族に必要な支援を見つけ出すのはなかなか困難です。

また、今はまだ子どもが小さいけれど、就学や進学のこと、将来的に利用できる制度について知りたい。という声もよく耳にします。児童期を通じて必要な制度や支援体制を知るには、どうすれば…。

でも、大丈夫！
豊かな地域療育を考える連絡会から、「障がい児の子育て支援ハンドブック改訂版」が発売されました。

障がいのある子どもを育てる保護者が、より適切な「相談」や「支援」につながるよう、障がい児の子育てに関するさまざまな情報を一冊にまとめました。もちろん、ご家族だけではなく、支援者や子どもとつながるすべての人に役立つ一冊となっています。川崎の障がい児の子育て支援に関する情報がぎゅっと詰まっています。

川崎市の最新の制度にとどまらず、支援に関わるさまざまな方のエッセイやインタビューなどもあります。

今回の改訂版作成にあたり、川崎市の方をはじめとして大変多くの皆様にご協力いただきました。

あらためて感謝するとともに、この冊子が1人でも多くの方に届くことを願っています。

※療育ねっとわーく川崎は、豊かな地域療育を考える連絡会の事務局としてその活動に協力しています。

今月号の目次

1	「新年のことば」
2	「療育ねっとわーく川崎」
3	「新年のご挨拶」
4	「療育ねっとわーく川崎」
5	「療育ねっとわーく川崎」
6	「療育ねっとわーく川崎」

メール・電話・FAXでのご注文

豊かな地域療育を考える連絡会事務局 担当:七川

TEL:044-455-7468
FAX:044-455-7498
e-mail: yutakanaryoiku@gmail.com

購入方法
必要事項をご連絡ください。
(名前、購入部数、住所、電話、FAX、メール)
購入の流れについてご連絡します。

※郵送可能ですが、送料と振込手数料はご負担ください。

直接のご購入はこちら

川崎南部地域療育センター
川崎区中島3-3-1 211-318
中央療育センター
中原区井田3-16-1 754-4559
川崎西部地域療育センター
宮前区平2-6-1 865-2939
川崎北部療育センター
麻生区片平5-26-1 988-3144
サポートハウスわにの家
中原区今井南町32-11 044-711-5078
お菓子工房しいの実
川崎市中原区木月伊勢町6-8 1F 044-434-5527
カフェイズミ
高津区下作延3-20-5 852-3034
CafePOPI(療育ねっとわーく川崎サポートセンター)
多摩区登戸2974-1グランデMINAMI11F 455-7468
えがわ療育クリニック
多摩区登戸2256 ジャンヌフィヤージュ1F 044-712-4056
※営業日時など、ご確認の上お買い求め下さい。

令和3(2021)年度 田園調布学園大学 第48回公開講座 障害の重い人たちの生涯学習支援の現状と課題

— 様々な視点から支援を考える —

●日時: 令和4年2月26日(土) 13:30~15:00(開場: 13:00)

●場所: 田園調布学園大学 2号館 221教室

(感染症の拡大状況により ZOOM オンライン開催となる場合があります)



●講師: 新井 雅明 (田園調布学園大学 教授)

専門は障害児教育と、特別支援教育、そして、授業のユニバーサルデザイン。重度重複障害者への支援や教育が、ライフワークで40年近く関わってきた。神奈川県立中原養護学校教諭として採用後、平成5年から重複障害教育の研究開発校の国立久里浜養護学校文部教官教諭となる。平成10年からは神奈川県立第二教育センターで研修指導主事などを歴任して神奈川県立えびな支援学校校長で定年退職し、平成31年4月から現職。その間に神奈川県立麻生養護学校、えびな支援学校と2校の新設の特別支援学校の開校に携わった。

〈実践報告者〉

●フュージョンコムかながわ理事長 成田 裕子氏

●神奈川県立スポーツセンター専門員 奥野 康子氏

●田園調布学園大学サークル BONDS 部長 磯部 雅斗氏

●利用者保護者 朝比奈 和子氏

●申込締切日: 2月18日(金) 17時
定員: 40名(先着順)

※コロナ対策のため定員数を調整しております。

●参加申込方法:
受講を希望される方は、①氏名・②性別・③年齢・④住所・⑤電話番号・⑥メールアドレス(以上必須)をE-mailでお送りいただき、お申込みください。とくに⑥メールアドレスは ZOOM 開催の場合に必要となります。
※お申込み先: c-center@dcu.ac.jp

●問い合わせ先:
田園調布学園大学 地域交流センター
〒215-8542 川崎市麻生区東百合丘3-4-1
TEL:044-966-2780
FAX:044-955-4345
E-mail:c-center@dcu.ac.jp
HP: http://www.dcu.ac.jp/

バス便

● 徒歩の場合 小田急線新百合ヶ丘駅より約22分

● 小田急線「新百合ヶ丘駅」下車 ⇒ 小田急バス「田園調布学園大学行き」
終点下車(バス約10分)

● 小田急線「新百合ヶ丘駅」下車 ⇒ 小田急・東急バス「たまプラーザ駅行」
田園調布学園大学前下車(バス約10分)

● 東急田園都市線「たまプラーザ駅」下車 ⇒ 東急バス「小田急バス」
「新百合ヶ丘駅行」田園調布学園大学前下車(バス約16分)

● 東急田園都市線・横浜支線「あざみ野駅」下車 ⇒ 東急バス
「田園調布学園大学行」終点下車(バス約18分)

※ 大学構内に駐車スペースはございません。公共交通機関をご利用ください。車いす利用等により配慮が必要な方は事前にご連絡ください。
※ 自然災害等で、やむを得ず本講座を中止する場合には、当日朝9時までにホームページでお知らせいたします。
※ 講座申込みの際に、ご提供いただく情報は本講座以外には一切使用いたしません。

主 催: 田園調布学園大学 【川崎市教育委員会連携事業】

(連絡先) 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2981 サポートセンター Rond
TEL 044-930-0160 Fax 044-930-0128 e-mail: tani@rond.jp http://rond2981jimdo.com/
(会費振込先) 郵便振込 00280-2-26842 特定非営利活動法人療育ねっとわーく川崎
■会費・賛助会費の別をお書きください。振込用紙が必要な方はお知らせ下さい。年会費 2500円 賛助会費一口 2000円

会員・賛助会員募集

【編集部ごぼれ話】

前回の「障がい児の子育てハンドブック」が完売した後、この冊子を求める問合せは続いていました。5年の月日と共に制度が変わってしまい、単純に増刷…というわけにもいかず、改訂版作成を決めました。

ちょうどその頃、コロナ感染症の拡大が始まり、取材も思うように進まなくなりました。必要最低限の修正を進めようとしていたところ、障害児の相談支援体制が変わること、医療的ケア児支援法案の設立に伴い、川崎市の支援体制が変わることが分かってきました。

ならば、ときちんと川崎市に取材をしたり、編集委員自ら見学したり、最新の情報を分かりやすいものにしようと、全面的に内容を見直ししました。

■児童の相談

今回の改訂版では「相談」に力を入れました。川崎市の協力のもと、子ども発達・相談センターや「医療的ケア児・者支援拠点」など、新たにできた支援機関を紹介するとともに、困ったとき、相談したいときにどこに相談に行けばいいのかを分かりやすく説明したページもあります。

■小児の医療

乳幼児健診のこと、川崎の小児の在宅医療の取り組みについてなど、川崎の小児科の先生が取材に協力してくださいました。その他、小児のリハビリテーションや学校への看護師配置のことなど、内容を充実させました。

■もしもの時への備え「防災」と「安心ノート」

障害のある児童と家族の「もしもの時」への備えにつ

いて、新しく加わった topics です。「災害」への備えや川崎市の支援体制、そして、親や家族に何かあった時の備えとして「安心ノート」のことを紹介しています。

■きょうだい

障害のある子どもの「きょうだい」について、新しく加わりました。本人への支援はもちろん、「きょうだい」のことも考えて欲しい。自らもきょうだいであり、きょうだい支援の活動をしている方の話を聞き、大切なテーマだと改めて感じています。

■性的こと

連絡会で行なった研修会での話を、もつとたくさんの方に知ってもらいたいと、講師の先生にハンドブック向けに寄稿してもらいました。障がいがあってもなくても、知ってもらいたいテーマです

(編集長 七川)

new!

「豊かな地域療育を考える連絡会」障がい児の子育て応援ブック第3弾!

改訂版

障がい児の子育て支援ハンドブック

©kawasaki
すべての子どもにつながる

B5判型
別冊もついて
定価500円
税込み

豊かな地域療育を考える連絡会

2015年に発行した「障がい児子育て支援ハンドブック」の改訂版です。約5年の経過と共に、川崎市の制度変更や、障がい児を取り巻くさまざまな環境の変化による、新たな「情報不足」が生まれています。子育てに悩む保護者が、より適切な「相談」や「支援」につながるよう、さまざまな情報を掲載しました。支援者にも必要な情報満載です。

別冊：事業所一覧や児童期に利用できる制度情報などをギュッと一冊にまとめました

お問合せ、予約・ご注文はこちら

豊かな地域療育を考える連絡会事務局 担当：七川

TEL:044-455-7468
FAX:044-455-7498
e-mail: yutakanaryoiku@gmail.com

〒214-0014
多摩区登戸2974-1
グランデMINAMIII 1F
NPO 法人 療育ねっとわーく川崎
サポートセンター 内



「すべての子どもにつながっている」

多くの大人が知っているように、私たちはたくさんの贈り物を、子どもたちからもらっています

どんな子どもたちにも、楽しみに待つ明日があってほしい。希望や夢、自由な心を抱いて生きてほしい。子どもの命の輝きは、それだけで、たくさんの気づきや優しさを、周囲にもたらしてくれるのですから



もしも障がいがあることで、子どもや、その家族が悩んだり、困ったり、多くのことをあきらめたりしていたら、それを「しかたのないこと」にしたいとは思いません

けれど、さまざまな理由からひとりで、悩んでいる人はとても多いのです。絶望する前に、どうか誰かにつながってほしい。必ず良い方へ向かう道があることを、知ってほしい。障がいがあっても、周囲のサポートがあれば、子どもは自分の人生を切り開くことができるのです。どうかあきらめないでほしい



そんな願いから、この本は生まれました。子どもたちのために日々奔走する、たくさんの方々からその経験から生まれた大切なことを、伝えてくれます



ご家族の方、支援する方、学んでいる方、子どもとつながるすべての人へ。この本が、さわやかな風を呼び、新しい風景を見せてくれる「窓」のように、あなたのそばにあれば、これほど幸せなことはありません

豊かな地域療育を考える連絡会

特別な支援を必要としている子どもたちの豊かな育ち、安全で安心な暮らしを願い、様々なかたちで支援に関わる人たちのネットワークです。

相談 医療的ケア児・者の相談はここへ

市内2か所に設置

川崎市に「医療的ケア児・者等支援拠点」が新しく出来ました



【受付時間】月曜日～金曜日(土日・祝日、年末年始を除く) 9:00～17:00

- 総合リハビリテーション推進センター (川崎区・幸区・中原区)
TEL: 044-223-6973 FAX: 044-200-3974
川崎区日進町 5-1 川崎市複合福祉センターふくふく 2階
- 地域相談支援センターそれいゆ (高津区・宮前区・多摩区・麻生区)
TEL: 044-281-0037 FAX: 044-951-0071
麻生区万福寺 1-1-1 新百合丘シティビル 304

「きょうだい」のきもちって?

「きょうだい」のきもちって? 障がいのあるお兄さんも「きょうだい」も一緒に成長! 家族みんな笑顔!

きょうだいも、ひとりの子ども、ひとりの人間として見てほしい

「きょうだい」のきもちって? 障がいのあるお兄さんも「きょうだい」も一緒に成長! 家族みんな笑顔!

きょうだいさんがもちやすいきもち

- 何かが起こった? こわい! (不安・恐怖)
- いつもとちがう... みんなとちがう... (困惑・不安)
- ほくほく顔じゃないから もっと頑張らなきゃ! (プレッシャー)
- ほくほく顔じゃないから もっと頑張らなきゃ! (プレッシャー)
- だれも私のことは見てくれない... (寂しさ・孤立感)
- 私は... (自己肯定感の低下)

藤木 和子さん

NPO 法人 ねっとわーく川崎